

## 令和4年度 第4回公立鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 令和5年3月9日(木) 10:00～11:45
- 場 所 大会議室(Webexによるオンライン会議)
- 出席者 江崎信芳委員、西山信一委員、小林朋道委員、田中洋介委員、若原道昭委員、  
児嶋祥悟委員、澤志郎委員、林昭男委員、山田修平委員、米田裕子委員  
[10名/10名]  
北野彬子監事[1名/2名]
- 欠席者 山崎安造監事

### 【議事】

#### 1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

#### 2 審議事項

##### (1) 令和4年度予算の補正について

事務局から、令和4年度予算の補正について説明があり、原案について承認された。

##### (2) 令和5年度計画について

事務局から、令和5年度計画について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・ヤングケアラーについての記載があるが、環境大学でそういう問題が有るのか、それとも今後把握するために作るのか。介護のために休職、退職とかの問題があるのか。  
→今現在、学生並びに教職員から数件問い合わせがある。今回は、外部の会社に委託して、専門の業者に相談する仕組みを考えている。
- ・戦略会議とは、どんな構成でどんなことをするのか。  
→メンバー的には、幹部会のメンバーと同一である。ただし、担当課長は、議題に応じて参加する。
- ・コロナに関して規制等が大きく変わってきているが、大学の授業のやり方とか学生の学内での行動について、今までと変更が有るのか。  
→新年度は、基本はマスクの着用を求めない、個人の自由だと文科省から通知が出ている。ただそれに対応して直ぐに3年前に戻せるかという気持ちの面でもなかなか難しい。今議論中である。例えば食堂はパーテーションを設置して一方方向に向いて利用しているが、それは続けるべきだろう。入校の際の体温測定、アルコールによる手指消毒は継続すべき。授業については、現在試験配席で行っているが、それについては、通常の状態に戻そうかと考えている。
- ・効果的な学習成果の把握・可視化に取り組むとあるが今まで実施していないのか。それともより深めていくのか。  
リカレント教育の導入についての検討とあるが、何時頃からどういう分野を始めるのか。  
県内就職の推進についての方策について教えて欲しい。  
→学習成果の把握・可視化については、現在もアンケート等で実施しているが、それだけでは不

足があるので、より取り組みを強化する。

リカレント教育については、それぞれの審議会でもいろいろ議論していただいている。どのレベルで本学が提供できるのかということ点を点検していかないといけない。今後どのように組み立てていくかが課題になっている。

県内就職は、アンケート調査の分析により、今後どこにターゲットを絞っていくのかを調査した。環境学部は、自分のやりたいことであれば、場所はどこでもよい傾向。県内であれば農業関係の希望が多いので、そういうところに力を入れたい。経営学部については、全国ということもあるので、過去の状況を踏まえて重点的に取り組んでいきたい。

- ・学習成果の把握は、大学にとって必要なことなので、他大学とか効果の出ているところを参考に早急に取り組んでいただきたい。

県内就職については、常に人手不足であるので、県内の産業人材を輩出するというのも大学の使命であるので、県内の事業所により注目が行くように頑張ってもらいたい。

→現在、大学の教育の可視化を目指すためファクトブックを作成しデータに基づいてやるようにしている。まだまだ取らないといけないデータ等多い。学生の情報が一つのプラットフォームで管理されていない。今後ポートフォリオという形で整備していきたい。県内就職について分析したところ、好調な時は、色々な業種での募集が多かった。多様な業種で求人が沢山あると県内就職が増えていくと考えている。また、出来るだけ早い時期から県内の事を知ってもらう事も必要である。例えば、農業に従事するにしても、従来通りの農業だけでなく、併せて環境問題であるとか、体験であるとかこれからの時代に合った新しいビジネスを創出していく必要がある。

- ・学生のポートフォリオは以前から進めているという認識だったがあまり進んでいないということか。

→本来目指している一貫したポートフォリオは、まだ整備されていない。新入生が学生生活をスムーズにスタートするための取組については、行っている。

### (3) 令和5年度当初予算について

事務局から、令和5年度当初予算について説明があり、原案について承認された。

### (4) AI・数理・データサイエンスの教育研究の推進及び規程の整備について

事務局から、AI・数理・データサイエンスの教育研究の推進及び規程の整備について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・この科目は、卒業要件との関係はどうか。

→このプログラムの必修科目である。一部科目を除き卒業のための必修ではない。

### (5) 公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について説明があり、原案について承認された。

### (6) AI・数理・データサイエンス教育研究センターの設置に関する諸規程の一部改正について

事務局から、AI・数理・データサイエンス教育研究センターの設置に関する諸規程の一部改正について説明があり、原案について承認された。

### 3 報告事項

#### (1) 第3期中期計画策定に向けたスケジュール等について

事務局から、第3期中期計画策定に向けたスケジュール等について報告があった。

#### (2) 鳥取大学大学院連合農学研究科との連携に伴う協定書等の締結について

事務局から、鳥取大学大学院連合農学研究科との連携に伴う協定書等の締結について報告があった。

#### (3) 教員の採用・昇任について

事務局から、教員の採用・昇任について報告があった。

#### (4) 令和5年度教学体制について

理事長から、令和5年度教学体制について報告があった。

#### (5) 環境省「脱炭素先行地域」の申請について

理事長から環境省「脱炭素先行地域」に採択されると、5年間程度、本学の再エネや脱炭素のハード施設整備に有利な交付金が活用できる。ただし、まだ木質バイオマス発電事業については、市の実現可能性調査(FS・フィージビリティスタディ)が未了であり、この結果を見定めて投資判断をする必要がある。先行地域に採択された後、毎年度の事業申請にあたっては、時点時点で検討し効果を見極めて判断していく必要があると考えていると概要説明があり、詳細について事務局から報告があった。

〈主な意見等〉

・脱炭素先行地域の参考になる資料が関西万博の最新動向の資料の経済産業省の資料が参考になるので入手して活用されたらよい。

→早速入手して参考にしたい。

#### (6) 公立鳥取環境大学情報格付け基準の制定について

事務局から、公立鳥取環境大学情報格付け基準の制定について報告があった。

#### (7) 近況報告

事務局から、近況について報告があった。

### 3 その他

・今後も審議会は、オンラインで実施していくのか。

→利便性もあるので、オンラインと対面のミックスを今後検討する。

### 4 閉会